

ま と め

- 経済成長の成果によって、一定の豊かさに到達した今日、一人ひとりの労働者が抱える課題は多様であり、個別化している。労働者の間に様々な働き方が広がる中で、ある者にとっては、労働時間の短縮が課題となり、また、均衡処遇を通じて処遇の改善を望む非正規雇用者もおり、さらに、正規雇用の就職を期待する若者もいる。
- 仕事と生活の調和を図り、一人ひとりの働き方に応じた成果の配分を実現することが重要である。雇用システムの中に、仕事と生活の調和に役立つ様々な制度を育て、定着させ、労働者がそれを積極的に活用することができる環境を整備することによって、我が国の経済循環において労働者への分配を強化することが大切である。

仕事と生活の調和が持つ3つの社会的意義とその実現に向けた取り組み

① 就業率の向上と高い労働生産性の実現

仕事と生活の調和は、人口減少社会における労働力供給制約に対し、より多くの就業参加を実現することで就業率の向上と労働力の確保に役立ち、効率的な仕事の推進を通じて、労働者の意欲を引き出しながら、高い労働生産性を実現するものである。また、これらは、活発な企業活動と着実な経済成長にも大きく貢献する。

- ・ 多様で柔軟な就業機会の幅広い提供
- ・ 公正な処遇の確保、誰もが安心して働くことができる労働環境の整備
- ・ 働き過ぎの是正、仕事の効率の向上と労働者の意欲の向上
- ・ 男性の家事、育児の時間を増加させることで、女性の就業参加を促進

② バランスのとれた経済循環の実現

仕事と生活の調和は、生産、分配、支出へとつながる一国の経済循環を、人口減少の下でも円滑に展開させることに役立つ。仕事と生活の調和によって、労働力供給の制約が克服され、労働者への分配がより厚くなり勤労者生活が充実し、消費支出と内需中心の経済成長の実現によって、過度に輸出に依存することのない、安定したバランスのとれた経済循環が達成できる。

- ・ 賃金コストの削減のみを目的とした安易な非正規雇用活用の是正
- ・ 若年者の正規雇用の雇用機会を拡大、長期的な視点に立った職業能力形成の促進
- ・ 就業形態間の均衡処遇を通じた労働者の意欲と生産性の向上
- ・ 生活の安定と安心の下で、消費支出の着実な拡大
- ・ 安定した経済成長の実現に向けた機動的な経済運営、中長期的な経済成長力の強化

③ 人口減少時代の社会の安定の達成

仕事と生活の調和は、経済活動の前提である我が国社会の基盤を養い、安定させるものである。男女のバランスのとれた就業参加を通じて、結婚や子どもを持つことに対する希望の実現に役立つことが期待でき、また、労働者の自由時間の増大によって、地域社会の諸活動における担い手も増え、家庭や地域といった社会的な基盤を確固たるものとし、人口減少時代の社会の安定に役立つものである。

- ・ 長時間労働を抑制し、育児や介護を支援する地域社会の取り組みを充実
- ・ 就業を含む様々な社会参加の道を広げ、特に、高齢者が自らの健康状態など、状況に応じた社会貢献を実現
- ・ 地域社会における様々な社会貢献事業を、我が国社会全体として支援
- ・ 会社での職務経験に過度に傾斜した人生を送ってきた人々とは違う、感性が豊かで問題解決能力に優れた人材の育成